

自分に合った働き方を見つけよう

# ながとで働く

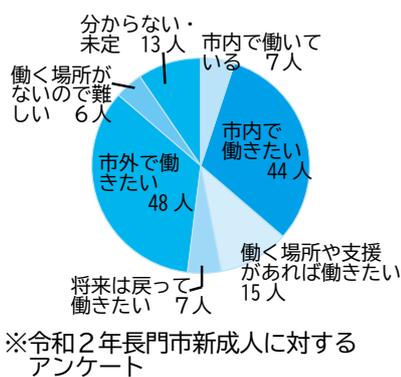
華やかな都会は若者にとって魅力的です。しかし、長門市にも違った魅力がたくさんあります。新型コロナウイルス感染症の拡大は、都会で暮らし続けることに、一度立ち止まって考えるきっかけを与え、オンラインやテレワークの普及は、どこにいても働くことができる可能性を示しました。あなたに合った働き方を長門市で見つけてみませんか。

## 続く人口減少

本市は、1955年（昭和30年）をピークに人口減少が続く、20年後の2040年には、現在の3分の2である約2万2千人にまで減少すると推測されています。また、進学や就職のため、若者の市外への転出も続いており、若年層の人口が少ないのが現状です。このままでは、活力が失われ、地域の維持が難しくなります。

## 本当は地元で働きたい

このたび、新成人となった20歳の若者に、働く場所に関する意識調査を行ったところ、長門



市で働きたい、将来は長門市に帰ってきたいなど、その過半数が長門で働きたいと回答しました。企業が求める人材と若者が働きたいと思う企業とをマッチングさせることが課題となっています。

Q あなたは将来、長門市で働いてみたいですか？

## 地元の企業を知っていますか？

NPO法人つなぐの主催により、高校生と地元企業をつなぐ「合同企業ガイダンス」が年に2回行われています。市内の企業が、就職を希望する高校生およびその保護者などを対象に、自社の魅力や仕事のやりがい、求めている人材をPR。高校生にとっては、直接企業と話をする良

話をする良



▲昨年度のガイダンスの様子



▲長門市しごとセンターには若者が集う

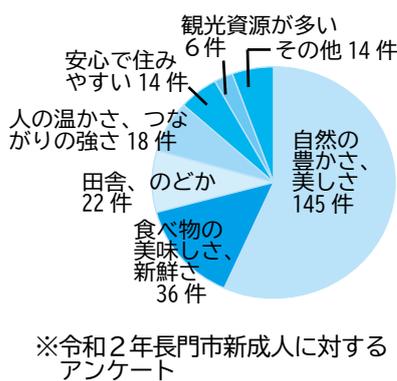
い機会となります。地域、企業および学校の協力により、年々参加の機運が高まっており、地域企業の情報や魅力を若者に伝えることで、市内企業への就職や早期離職防止が期待されています。

**働きやすい環境づくりに取り組んでいます**

アンケートでは、長門市は自然豊かで食べ物美味しく、安心なまちと多くの若者が回答しています。あらゆる世代の人が長門市で住みやすく、働きやすい環境をつくるために、市では次ページのとおり、さまざまな支援策を実施しています。

## ながとで働こう

都会に出る前に地元を知る、地元を知ってもらうために情報を届ける、それぞれがあと一歩踏み出すことで、「ながとで働く」につながっていきます。



Q 長門の良いところ、イメージは？

# 長門市は、あなたの「働きたい」を応援します

## NPO法人つなぐ

ながとの「まち」「ひと」「しごと」をつなぐことを目的に発足した団体です。市内で働く・働きたい人を応援します。

### 【実施しているイベント】

- ・パソコンスキルアップ研修
- ・若手向け合同研修
- ・リーダー育成研修
- ・中小企業診断士への無料相談（月1回）
- ・ながと起業塾（商工会議所が主催）
- ・『進路を考える若者に贈る地域企業ガイドブック』の発行
- ・市内企業と直接話す「合同企業ガイダンス」



▲地元 43 企業を掲載



▲ホームページで企業やイベントの紹介をしています

## 長門市しごとセンター

「出会い」「学び」「交流」を育む新価値創造空間

壁一面がホワイトボードになっている会議室やオンライン会議のできるシステムがあり、会社の枠を超えて一緒に何かを企画したり、創業に向け準備するなど、自由に使用いただけます。

さくさく動く Wi-Fi やリラックスできるソファもあり、テレワークにも最適です。

利用時間：10 時～ 22 時  
（火曜日と年末年始は休館）

### 【利用できるサービス】

- ・コワーキングスペース
- ・会議室（大）（小）
- ・オンライン会議システム
- ・プロジェクター、マイク
- ・ホワイトボード



▲長門市しごとセンター



▲施設の利用詳細はこちら

## 定住支援

市では、移住相談や空き家情報バンクを通じての移住者の受け入れ、定住のサポートを行っています。

### ■相談はオンラインでも受付中

ご自宅にしながら移住相談ができるようになりました。

長門市への移住に興味のある人、移住を検討している人に、定住支援員が懇切丁寧に対応します。



### ■空き家情報を募集します

市では、「空き家情報バンク」を設置しており、空き家を売却または賃貸したい所有者と田舎暮らしを希望される市外の人が、それぞれ情報を登録し、双方に情報を提供しています。

現在、多くの U J I ターン希望者から問い合わせをいただいています。空き家を売ってもよい、貸してもよい、興味があるから話を聞いてみたいという人は問い合わせください。（なお、市は空き家に関する交渉や売買・賃貸借の契約については関与しません。）

▶長門市定住支援ページはこちら



【企画政策課 TEL 23-1229】

## 就漁支援

漁業経験がなく、経営基盤が脆弱な新規漁業就業希望者が、漁業者のもとで漁業経営を開始する際に必要な技術・知識などの習得に係る研修を受ける場合、研修支援費などを補助します。

【農林水産課 TEL 23-1145】

## 就農支援

市内の法人などに雇用され農業技術を習得する際の雇用者支援や、市内に居住して営農を継続する者に奨励金の交付を行います。

【農林水産課 TEL 37-2113】

## 創業支援

市内で新たに起業する人に対し、経費の一部を補助します。

※創業補助金利用者数  
平成 27 年度～ 計 45 人

【産業戦略課 TEL 23-1136】

## 空き家リフォーム助成

空き家情報バンクに登録のある空き家を購入または賃貸した場合、リフォームまたは不要家財処分に必要な費用の一部を補助します。

【企画政策課 TEL 23-1229】

## 結婚新生活支援

結婚して市内で新生活を始める夫婦を応援するため、結婚の際の新居となる住宅の購入費や賃料、引っ越しなどにかかる費用を補助します。

【市民活動推進課 TEL 23-1185】

## 三世代同居支援

新たに三世代同居を始められる世帯（小学生以下の者を含む世帯）で、三世代同居対応のための住宅取得費用または既存住宅増改築費用の一部を補助します。

【建築住宅課 TEL 23-1186】



## 地元就職

ヤマネ鉄工建設株式会社  
やまね りか  
山根 莉加さん (19歳)

長門市出身。萩商工高校を卒業後、昨年4月、ヤマネ鉄工建設株式会社に入社。現在、鉄骨量の積算業務を担当している。

高校では、簿記やパソコンなど事務全般を学びました。親のそばにいて働きたいと思っていたので、高校在学中から、卒業後は自宅から通える企業への就職を希望していました。小学生のときにヤマネ鉄工を社会見学したことがあり、地元で有名な会社なので、入社したいと思うようになりました。

現在は、鉄骨量が指示された数量や基準と適合しているかを確認する積算業務を担当しています。鉄骨についての知識がなく、慣れるまで時間がかかりました。また、東京の現場と距離が離れているため、現場でしか学べないことを理解するのに苦労しました。上司が勉強会を開き、理解するまで何度も教えてくれました。また、家族から「今が大変だけど、慣れたら大丈夫だよ」と勇気づけられ、安心したのを覚えています。

長門市は、安心して落ち着いて過ご



▲積算を行う山根さん。積算結果が契約金額に影響するため、慎重に行うよう心がけている

せる場所です。時々、車で山口市や福岡県に遊びに行くことはありますが、ひとり暮らしは不安なので、都会いに住みたいとは思いません。長門市に住んでいて不便を感じることはありませんが、もう少し若者が遊べる場所があったらいいなと思います。

あべのハルカスや東京スカイツリーのような都会にある建築物の建設に、田舎にいながら携われることが魅力です。これからもこの仕事を続けていきたいと考えています。

## はたらく魅力とは何ですか？



▲現在は「ながと」のほか、フリーランスで編集やライターの仕事をしている

大学でアニメーションを学び、東京でアニメーターやWebメディア編集に携わりました。Uターンのきっかけは、同じく山口県出身の妻との結婚です。「将来子どもが産まれたとき」を想像したら、長門で育った私が東京で子育てをするイメージがまったく浮かびませんでした。「帰り方」を模索する中で長門市の地域おこし協力隊募集を見つけ、応募しました。

協力隊では、観光担当として観光サイト「ななび」の運営やマップ作成、ローカルメディア「ながと」の運営

といった活動を展開。現在は「ながと」と並行し、地域の企業や団体からいただく編集/デザインのほか、ライターやカメラマンとしても仕事をしています。

「帰ってきて良かった」と感じるのは、〈季節〉を感じながら生活できることです。景色や気候の変化、旬の食べ物など、さまざまな事柄から「今年もこの時期がやってきたな」と、うきうきしながら暮らせています。

これまでの仕事と比べ、「地域に関わりながら、自分のスキルを活かして報酬をいただく」今のスタイルがいちばん充実していると感じています。一方で、インターネット環境がもつと充実すると、より仕事がいやいやと感じることもありますね(笑)。息子も生まれ、1歳半になりました。家族と楽しく暮らすため、精一杯、地域の役に立てよう頑張ります！

フリーランス編集者 / デザイナー

むらお えつろう  
村尾 悦郎さん (34歳)

長門市出身。大学を卒業後、東京都でアニメーション制作やWebメディアの仕事に約10年間携わる。2017年にUターンし、地域おこし協力隊に就任。任期終了後は、編集者/デザイナーとして、印刷物の制作やライター業を行う。長門市観光コンベンション協会スタッフとしても活躍中。



将来は、大きい社会構造に依存することなく、自立した生活をしていきたいという想いがあったことから、大学時代に自給自足生活サイトに掲載されていた長門市を旅行で訪れました。大学卒業後はデザイン会社に就職したのですが、移住したいという気持ちが抑えきれずに、一年で会社を辞めて油谷向津具に移住しました。

移住後は、地元の会社に勤務しながら、地域活動に携わりました。地元の人と関わりを深めていくなかで、自分のやりたいことが見え始め、現在は、イクリ（スモモの一種）や、長門ゆずきちなど山口県産食材や、棚田で自分たちが育てたハーブを使ったジェラート店を運営しています。

大阪では営業職だったので、売り上げなどのプレッシャーがあり、お金のために働いているという感じでした。長門では、働きながら地域の活動や社



▲ジェラート店「むかつく」は、週末のみ営業。添加物、着色料、保存料は使用しない

会貢献をすることができ、やりがいを感じています。まわりに自然があり、散歩やサーフィンなどをして楽しむ時間を大切にしています。

ジェラート店以外に、移住したい人と地域の人をつないだり、余った食材を地域内で交換し合うコミュニティづくりの準備を進めています。人が少ない地域で人づくりをしたい、面白いまちをつくりたいという気持ちでこれからは持ち続けながら、いろんなことに挑戦していきたいと考えています。

## ジェラート むかつく

たじま だいき  
田島 大幹さん (28歳)

兵庫県芦屋市出身。大学卒業後、大阪のデザイン会社に勤務。その後、長門市のジェラート店「むかつく」に移住。棚田の保全、グラフィックデザインなども行う。

インタビュー

## あなたにとって、長門で



▲女性の活躍支援もNPO法人つなぐの大事な役割のひとつ

NPO法人つなぐの岡藤と申します。私自身、生まれ育った長門市へUターンした一人です。自然、景観、食文化、歴史、人。一つひとつが素晴らしい、豊かな地域資源に恵まれた場所。帰郷して初めて気付くものが多かったように思います。

それぞれの地域には、雇用を守り、全国、世界へ挑戦する産業の存在があります。「企業は人なり」と言われますが、人が輝くことが企業や街の輝きに不可欠です。私たちは、今こそ、人を活かして育てる街を目指さなければいけません。そうすることで、人材が持

## NPO法人 つなぐ

おかふじあきふみ  
理事長 岡藤 明史さん

大学卒業後、福岡の企業で5年間従事した後、長門市へ帰郷。ホテル楊貴館で観光業に従事している。次世代へ繋がる人材を地域で育てる必要性を強く感じ、NPO法人つなぐの理事長に就任。地元の高校生向けに、地域をつなぐ合同企業などの活動をしている。

働くを支援

つ「想い」や「可能性」を相乗させ、AIや機械に置き換えることのできない「創造性」を発揮することができると思っています。

激動の時代となり、これまでとマーケットや価値観が変わってきている今、地方の持つ「本質の魅力」が大切になります。こだわりのある農作物や鮮魚、原点復帰できる唯一無二の眺望、ライフラインを命懸けで守る、心からのおもてなし、世界に誇る技術力、これらすべてが本質であり、ここ長門市には本質を追及している企業が数多く存在します。

NPO法人つなぐは、市内外の若い人へ地域や企業の魅力を伝える取組、次世代を支える人材育成の取組などを行っています。この街に暮らす人が、誇りと郷土愛を持てるよう、少しでもお手伝いできればと思っています。

